

## 『長い道』

遠回りまでして使った「近道」は、結局は「遠い道のり」の一部だった。

その証拠に、ようやく僕が「そこ」へと辿り着いた時。

そこにはもうすでに届かぬ背中が並んでいた。

大声を上げて笑いたくなくなった。

大恥をさらして泣きたくなくなった。

だけど結局、僕は彼女らに背を向けて、再び一人で歩き出した。

今がまだ、「長い道」の途中でしかない事を願いながら。